

## 少年院におけるロールレタリング（役割交換書簡法）の活用と効果

福祉心理学専攻 堤 照美

### 要 旨

本研究は、本来、少年院で開発された処遇技法である役割交換書簡法（R L）の矯正において実施数が減少した原因を探り、R Lの効果について検討することを目的とする。少年院に勤務する中堅の法務教官 3 名に対して半構造化面接を実施し、発語記録を分析したところ、愛着障害やトラウマを抱えている少年に処遇効果を見込んで実施することや、文章表現が巧みな少年や多弁で流ちょうに話せる少年などをに施行を検討することが判明した。また、少年院で R L が実施されなくなった要因として、R L の理論と実際についての認識・理解不足、指導者の不足などが主な要因であることが推察された。また、R L で特徴的な「(対象者を想定した)手紙」を「書く」という二側面が、文章による思考・感情の明確化、自己カウンセリングの作用、カタルシス作用、対決と受容、自己と他者との双方からの視点の獲得、イメージ脱感作、自己の非論理的・自己敗北的、不合理な思考に気づく、という R L の臨床的な効果のいずれも支持することが確認できた。